

衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会ニュース

平成 28.5.12 第 190 回国会第 3 号

5 月 12 日（木）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。
辞任 理事 坂本 祐之輔君（民進）
補欠選任 理事 横山 博幸君（民進）（理事坂本祐之輔君今 12 日理事辞任につきその補欠）

2 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件

- ・島尻国務大臣（科学技術政策、宇宙政策及び情報通信技術（IT）政策担当）、富岡文部科学副大臣、黄川田外務大臣政務官、星野経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

津村 啓介君（民進）

- ・科学技術・イノベーションに関する本部が内閣府でいくつもあり、調整が必要になっていることを踏まえ、大臣がリーダーシップを発揮し、各本部に横串を刺す場を設けて重複した議論を避けるべきだと考えるが、島尻大臣の見解を伺いたい。
- ・第 5 期科学技術基本計画では任期の定めがない若手研究者の数を増やすとしているが、数値目標では本務教員の数とされている。政策目標に沿った数値目標を定めるためにも本務教員に限らず若手研究者に関する統計データを収集することが必要だと考えるが、島尻大臣の見解を伺いたい。
- ・北極海航路は各国が注目している政策分野であるが、我が国の有する砕氷船は「しらせ」のみであり、今年度の北極域観測技術予算は大幅に減らされている。予算措置の必要性を財務省に対して強く主張するべきと考えるが、文部科学省に伺いたい。
- ・国際リニアコライダーの誘致について、G7 つくば科学技術大臣会合の議題に上らなくても、多くの場面で積極的にアピールしていくことが必要だと考えるが、島尻大臣の見解を伺いたい。

横山 博幸君（民進）

- ・第 5 期科学技術基本計画では、対象期間中の政府研究開発投資額を約 26 兆円とする目標が掲げられているが、今年度の当初予算額は 3.5 兆円ほどであり、目標達成のためには 1.5 兆円の補正予算が必要になると考えるが、島尻大臣の見解を伺いたい。
- ・「まち・ひと・しごと創生本部」では中小企業に対する支援策を一覧できるパンフレットを作っているが、

これはどのようなところに配布されているのか。また、中小企業が必要な情報に容易にアクセス出来る府省横断的なウェブサイトなどが必要と考えるが、政府の見解を伺いたい。

- ・基礎研究で必要な高性能な実験装置に要する経費は膨大になる一方で、基礎研究のための資金を獲得することは難しくなっている傾向があるが、日本の基礎研究の今後及び基礎研究の資金調達方法について島尻大臣の見解を伺いたい。

大島 敦君（民進）

- ・準天頂衛星を用いた災害時の安否確認システムの開発状況について政府に伺いたい。
- ・今国会に提出されている宇宙関連 2 法案について、今後の宇宙ビジネスの発展に重要であると考えているが島尻大臣の見解を伺いたい。
- ・第 5 期科学技術基本計画では、GDP の 1 %、総額約 26 兆円の政府研究開発投資額を設定したことが最も大切であり、達成のために内閣府が各府省に対し働きかけを続けていくべきと考えている。また、科学技術人材育成に関して、博士課程に進学する学生への支援が不十分な問題があると考えているが、この 2 点について島尻大臣の見解を伺いたい。

真島 省三君（共産）

- ・我が国におけるバイオセーフティレベル 4（BSL-4）施設の必要性について、島尻大臣の見解を伺いたい。
- ・武蔵村山市にある国立感染症研究所の BSL-4 施設が 34 年間稼働できなかった理由を伺いたい。

- ・BSL-4施設の建設・稼働に当たり、地元住民の理解が不可欠と認識しているか伺いたい。
- ・長崎大学がBSL-4施設の建設について坂本キャンパスを候補地とした理由に対する政府の評価と、設置を決定する主体及び責任は、国と長崎大学のどちらにあるのか伺いたい。

- 別措置法の成立を契機として、充実強化に舵を切るべきであると考えているが島尻大臣の見解を伺いたい。
- ・外務省主体でアフリカにおける科学技術協力・宇宙開発協力の外交を行うべきであると考えているが、外務省の見解を伺いたい。

伊 東 信 久君（おおさか）

- ・革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）が進行中であることは承知しているが、最先端研究開発支援プログラム（FIRST）の次となる計画の有無を伺いたい。
- ・科学研究費助成事業（科研費）の配分にメリハリを付けることで規模の大きな研究を支援できるようにすべきと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・優秀な若手研究者を海外に流出させず、国内で守り育てる必要があると考えるが、島尻大臣の見解を伺いたい。

松 島 みどり君（自民）

- ・近年、ゲリラ豪雨や竜巻が増えている現状を踏まえ、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）における「豪雨竜巻予測技術」については早期に実現すべきと考えているが、島尻大臣の見解を伺いたい。
- ・知的財産推進計画 2016 には中小企業の海外認証取得の推進の支援などが盛り込まれている。中小企業は規格策定や渡航費用の負担が重い現状があるため積極的な支援が必要であると考えているが、経済産業省として具体的に実施する支援の内容を伺いたい。

尾 身 朝 子君（自民）

- ・科学技術予算の停滞傾向を受け、4月19日に政界、財界、ノーベル賞受賞者、高等教育機関、科学技術研究機関といった各界から「科学技術予算の抜本的拡充に関する要請」が安倍内閣総理大臣に対して提出された。科学技術関係予算については抜本的に拡充する必要があると考えるが、島尻大臣の見解を伺いたい。

伊 佐 進 一君（公明）

- ・防災科学技術研究所は平成28年（2016年）熊本地震においてどのような活動をおこなったのか、具体的な活動内容を伺いたい。
- ・国立研究開発法人の予算が減少し続けているが、特定国立研究開発法人による研究開発等の促進に関する特